

令和6年度俳人協会鹿児島支部

桜島俳句大会の結果について

秋冷の候、益々ご清栄のことと存じます。日頃より俳人協会鹿児島支部の活動にご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。お陰様で本年、支部創立40周年を迎えました。

桜島俳句大会を募集句の部、吟行会の部の二本立てで実施いたしました。

募集句は季節を問わず桜島をテーマにした作品を投句していただきました。8月1日(8月31日の期間に)99名、316句の投句がありました。投句を無記名で並べた句稿を投句者に送り、葉書による互選(一般五句選、選者十五句選)を経て、10月5日(土)に選句結果をもとに入賞作品を決定しました。なお、募集句選者には俳人協会評議員である、松尾隆信先生(「松の花」主宰)、中西夕紀先生(「都市」主宰)のお二人にもお願いいたしました。

また、10月13日(日)に桜島で開催された吟行会には54名が参加し、162句の投句がありました。参加者による互選(一般三句選、選者七句選)の結果、以下の通り入賞作品が決定いたしましたので、お知らせいたします。

令和六年十月十四日

俳人協会鹿児島支部長

淵脇 護

令和六年度俳人協会鹿児島支部桜島俳句大会入賞作品一覧

【募集句の部】

99名 316句

大会賞(俳人協会鹿児島支部賞)

大根蒔く鳴動に慣れ火山灰に慣れ

川路 恵子

南日本新聞社賞

干し網に残る魚臭や波止の夏

濱田 彰典

鹿児島県俳人協会賞

旅鞆置いて足湯に解く秋思

窪見 れい

優秀賞

一位 熔岩畑の蒔たたき出す大夕立

淵脇 護

二位 渡船待つ椅子の固さや初盆会

小川 莎良

三位 遠泳の子ら見届けて山噴けり

白男川孝仁

四位 蔓引けば火の島ゆらぐ通草採

山口 雄二

五位 椿の実杭一本の舳ひ舟

藤元 睦子

六位 空蟬の転がつてゐる火山灰溜り

榊 みつ

七位 秋日和句碑へ手書きの道標

井手 恵子

八位 月涼し真白に乾く火山灰の鋏

山口 雄二

九位 耕せば地より天より赤とんぼ

古市 博一

十位 百年の埋没鳥居蟬の穴

中間 恵子

選者特選（特別選者以下五十音順）

松尾 隆信選

しんしんと火山灰の降り積む油照り

中間 恵子

中西 夕紀選

月涼し真白に乾く火山灰の鍬

山口 雄二

大川畑光詳選

大根蒔く鳴動に慣れ火山灰に慣れ

川路 恵子

折田 幸弘選

熔岩畑の諸たたき出す大夕立

淵脇 護

中橋 藤七選

身に沁むや語り継がれし噴火悲話

金子 嘉仁

中間 恵子選

秋分や火山赤銅色に暮れ

五反田秋夫

長柄 英男選

椿油子等完売の拍手湧く

窪 昌子

濱田 彰典選

遠泳の子ら見届けて山噴けり

白男川孝仁

淵脇 護選

蔓引けば火の島ゆらく通草採

山口 雄二

寶來喜代子選

大根蒔く鳴動に慣れ火山灰に慣れ

川路 恵子

山之内赫子選

百年の埋没鳥居蟬の穴

中間 恵子

和田 洋文選

どこまでも未完の熔岩や新松子

安樂与喜子

【吟行会の部】 54名 162句

最優秀賞（レインボー桜島賞）

熔岩踏めば我も旅人いわし雲

窪見 れい

優秀賞

一位 鯨とんで日の斑の匂ふ潮だまり

窪見 れい

二位 鳴動に父祖のこゑ聞き秋耕す

藤元 睦子

三位 秋深し蛸壺まるぶ熔岩岬

西田まり子

四位 葛鎧ふ熔岩大塊を崩さざる

和田 洋文

五位 一湾にイルカ遊ばせ山噴けり

森 重代

六位 火山灰降るや星座のごとき鱒生簀

寶來喜代子

七位 あつさりと婚を告ぐる娘菊日和

白坂 道代

八位 溶岩影に色こぼしけり式部の実

地頭 健勝

九位 秋暑し山は憤怒の煙を吐く

林元美千代

十位 シャンソンは潮風に乗り新松子

石堂 絹子

選者特選（五十音順）

大川 畑光詳選

火の山の凝しき尾根や秋澄めり

池江 和

折田 幸弘選

火山灰降るや星座のごとき鱒生簀

寶來喜代子

中間 恵子選

北岳の巖をあらはに秋澄めり

和田 洋文

中橋 藤七選

鳴動に父祖のこゑ聞き秋耕す

藤元 睦子

長柄 英男選

火口までたつた三キロ運動会

森 重代

濱田 彰典選

熔岩踏めば我も旅人いわし雲

窪見 れい

淵脇 護選

鯨とんで日の斑の匂ふ潮だまり

窪見 れい

寶來喜代子選

色変へぬ松の支ふる芙美子の碑

藤元 睦子

山之内 赫子選

火の島の句碑を掠めて小鳥来る

前田 浩海

和田 洋文選

露の世のけふを楽しく使ひ切る

寶來喜代子